

学校再編だより

－保護者と地域の協働による検討会議－

第二中学校

－第5号－

令和7年12月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

第二中学校(琴田小・共和小)地域検討会議の検討結果

琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設することに「反対多数」となった。

10月30日、12月4日午後6時30分から旭市役所1階市民ホールにおいて、第4回、第5回第二中学校地域検討会議を開催しました。

会議では、第二中学校(琴田小・共和小)地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書(案)について最終確認をしました。

学校再編基本方針の内容に対する委員の意見として「学校を新設することで周辺地域の発展が期待できる部分もある」、「夢のある学校づくりを期待する」などの賛成意見があつた一方で、「金額が大きいので費用対効果を考えると反対」、「数字だけを見ると賛成しにくい」、「生徒数のバランスが悪いので学区の見直しが必要」、「新設するメリットが感じられない」などの反対意見が多い結果となりました。

今回の会議をもって、第二中学校(琴田小・共和小)地域検討会議は終了となります。

今後は、各地域検討会議の代表者で構成する代表者会議を設置し、それぞれの検討結果を持ち寄り、最終的な賛否について審議します。

【参考】干潟中学校地域検討会議の検討結果

琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設することに「賛成多数」となった。

第1回代表者会議開催予定 日時:令和8年1月26日(月) 午後6時30分から

場所:ひかた市民センター

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

【検討の経緯と理由】 ※報告書抜粋

第二中学校は、昭和22年の創立以来、2回の統合といった変遷をたどりながら、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれてきた。

令和7年度の生徒数は724名（20学級）で市内最大規模の中学校となっており、文部科学省が示す適正規模12～18学級を上回っている。

会議の中では、子供の数が減っているので統合自体はやむを得ないという意見や、中学校を新設することで周辺地域の活性化が図れる、夢のある学校づくりを期待するといった意見があった一方で、5つの学区だけで中学校を新設することについては、統合後の生徒数のバランスが取れないことや新設の必要性、費用を懸念する意見があった。

検討の結果、旭市学校再編基本方針のとおり、琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設することに対しては、生徒数の減少や費用面などで「反対」とする意見が多い結果となった。

地域検討会議終了後の流れ

